



① 目指す学校

【目指す学校像】

笑顔あふれる・元気あふれる・愛情あふれる学校

- 子供が達成感・充実感を味わい、子供の笑顔があふれ、安全・安心で、学校生活を送れる学校
- 保護者・地域社会と連携し、子供の元気があふれ、明日も行きたいと思える学校
- 教育公務員の自覚があり、子供への愛情にあふれ、信頼される教職員が生き生き働く学校

- ★ 子供たちに深い愛情をもって接し、笑顔・元気あふれる児童を育てる。また、子供たちの健やかな成長を願い、保護者・地域の方と共に、教職員が一丸となって教育活動を進める。
- ☆ 小中一貫教育を充実させ、地域に愛される学校・地域を愛する子供・母校を愛する子供を育成する。
- ☆ 組織体制で「いじめ対応」を行い、子供の安全・安心を確保し、明日、学校に行きたいと思える学校づくり。

【教育目標 ⇒ 目指す児童像】 ※ ◎ 重点目標

- じょうぶな子 ⇒ 自らの体力を高め、健康で安全な生活を送ることができる児童
- ◎ よく考える子 ⇒ 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、自ら学び考えることのできる児童
- なかよくする子 ⇒ 社会規範を守り、望ましい人間関係を築くことができる児童
- がんばる子 ⇒ 自分の存在価値を認め、自分の夢に向かって頑張ることができる児童

TripleA+1(トリプルAプラスワン)の実施

- A あいさつ 人と人のつながりが大切。まずは、あいさつから。
- A ありがとう 感謝する心を忘れない。それは、親にも友達にも。
- A あせをかく 何事にも力を抜かず頑張れる。遊びも学びも。
- +A あかるい心 いつも前向きな明るい心をもって、みんなに優しく。

【学校経営の基本理念】

- 地域運営学校(コミュニティ・スクール)として、学校・保護者・地域社会が三位一体となった教育活動を展開し、子供に『生きる力』を育成する。
- 義務教育9年間で視野に入れて、知・徳・体の基礎的基本的な指導を行い、地域・社会に貢献できる人間としての基礎を培う。

【目指す教職員像】

- 子供に深い愛情を注ぎ、厳しさと温かさを持ち、見守り・認め・伸ばす指導ができる教職員
- 笑顔・元気あふれる児童を育成するために、自らも笑顔で心身ともに常に健康な教職員
- 自己の資質・能力を高めるために、研修と修養に励み、深みをもった教育ができる教職員

トリプルの実施

- Search 見守る 心のアンテナを常に高く、子どもたちの心の変化に気付く。
- Speed 素早く(啐啄同時) 何か変だなと感じたら、すぐに対応する。
- Spirit 教育熱 愛情と教育者としての誇りをもって、指導・支援をする。

② 中期的な目標と方策

- 子供に『生きる力』である「確かな学力、豊かな人間性、健やかな心と体」を育む教育活動が展開される学校づくりを推進する。
- 子供に普遍的な道徳心や規範意識を身に付けさせ、社会や時代の変化や困難にも主体的に対応できる能力を育成する。そのために、自ら考え伝え合う教育活動が行われる学校づくりを推進する。
- ICT 機器(1人1学習用端末等)の活用・プログラミング教育の推進を行うことにより、今日の情報社会の時代に対応できる児童を育成する。そのための教員のスキルアップ・環境整備を重点的に行う。
- 学校組織体制(いじめ対策委員会等)・施設設備等の教育環境の点検・整備・改善に努め、いじめ、不登校、発達課題、進学・進級、学力不振等、子供や保護者の相談体制を充実させ、安全安心で信頼される学校づくりを行う。
- 地域運営協議会と協力して、地域・保護者と共に教育活動を行うことによって、愛校心・地域愛を育む。
- 松が谷中学校・松が谷小学校とともに**学力向上・キャリア教育を中心にして**、小中一貫教育を推進していく。

③ 令和8年度、力を入れる学校づくり

- ★ なかよし班を中心とする家族のような温かな異年齢集団の中で、心豊かに笑顔あふれる活力のある学校づくり
- ☆ **松が谷中学校・松が谷小学校とも連携し、「希望あふれる9年間 3校同年51YEARS」として松が谷・鹿島地区の特性を活かし、社会的自立に向けて実践的態度を育成する。」を3校のキャリア教育の共通テーマとする。**
- それを受けて本校では**【自然に触れ、土からの生産活動を通し仲間と協力することで、児童の社会性を育成する。】**をテーマとし、様々な教育活動を通して、テーマの実現に向かって推進する。

④ 令和8年度の取り組み目標と方策

1 『健やかな心と体』を育むために ☆ じょうぶな子		A:よく達成できた B:概ね達成できた C:もう少し D:達成できなかった		
目標	具体的な取り組み目標・方策	自己評価・学校評価	達成度	今後の対策・展望
○ 体の健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> ★ 体力を増強する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校持久走(11月) ・ 短縄チャレンジ(3学期) ★ 食生活の改善・健康な体を育む食育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食&図書コラボ ・ ウェルカム給食(毎学期) ・ 野菜の皮むき体験等 (トウモロコシ・ソラマメ・グリーンピース等) ・ 食育の授業(学級活動) 			
○ 心の健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> ★ 悩みの共有(一人で抱え込まない) <ul style="list-style-type: none"> ・ SCIによる4・5・6年生全児童の面談 ・ 児童実態アンケート調査(毎学期1回) ★ 個に応じた心の安定 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 特別支援教室(つばめ)拠点校 ・ つばめ教室での指導を充実させ、通常の学級での学校生活に活かす。 ・ 連携型個別指導計画の見直し ・ 教員の特別支援教育の研修の強化 ・ 年度始めの保護者面談 (つばめ学級保護者面談以外に、管理職・養護教諭・学級担任による) 			
2 『確かな学力』を身に付けさせるために ☆ よく考える子(今年度 重点目標)				
○ 言語活動を中心に、考え表現できる子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ★ 校内研究の活性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研究を「思考・判断・表現の力を高める指導 ～どの子も考え表現できる活動を通して～」の4年目として、研究領域を全教科に更に広げる。年間2本の研究授業を行う。 ★ 言語活動の充実(ことば朝会) <ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句・短歌・川柳作りの推進 日本古来の言葉の文化に触れ楽しむ。 ・ 12月に人権教育を意識した取り組みを行う。 			
○ キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ★ 【自然に触れ、土からの生産活動を通して仲間と協力することで、児童の社会性を育成する。】をテーマとし、様々な教育活動を通して、テーマの実現に向かって推進する。 ★ 異年齢集団(なかよし班)の活動を中心に、仲間との協力・協調を体験することで、思いやりの心と社会性を育成する。 ★ 収穫した野菜等を販売することで、経済の仕組みを実感させる。 			

<p>○ 一人一人に応じた児童の学力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ ICT機器の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ クロームブック・ミライシードの活用 ★ 小中一貫教育を使って <ul style="list-style-type: none"> ・ 八王子市が小学4年生から中学まで継続して行う学力調査の結果を踏まえ、一人一人の課題に対応する。 ・ 学力定着プロジェクトチーム設立(学力定着度調査(小学4年～中学3年)の分析) ・ はちおうじっ子ミニマムの活用 ★ 補習授業の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の終わり3日間、算数科補習授業。 ★ 教科担任制の一部実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5・6年生を対象に単元等で実施する。 		
--------------------------	--	--	--

3 『豊かな人間性』を育むために

☆ なかよくする子

<p>○ コミュニケーション能力の向上(あいさつから)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ TripleA+1(トリプルAプラスワン)の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 【あいさつ】【ありがとう】【あせをかく】【あかるい心】を合言葉に「気持ちの良い挨拶。」「いつも感謝の心を忘れない。」「何事にも全力になる」「前向きな優しい心をもつ」を児童に意識付ける。特に今年度は、「ありがとう感謝の気持ちをもつことを意識付ける。 ・ 児童委員会・地域(青少対・年2回)のあいさつ運動を充実させ、保護者・地域に挨拶の輪を広げる。 ★ 地域への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少対あいさつ運動(年2回) ・ 地域クリーン活動・納涼祭・地域音楽祭・わくわくランド等、松が谷・鹿島地区青少対・鹿連協・はちビバ松が谷とも連携し、地域とのつながりを強化する。 		
<p>○ いじめ防止強化と的確な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ いじめの早期発見と継続的な見守り <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの未然防止・不登校児童・登校渋りの児童へ焦点を当て、早期・適切な対応を行い、児童一人一人の心のケアに努める。 ・ 毎週(月曜日)授業時間1コマ(45分間)「いじめ対策委員会」を開催。(必要に応じて随時開催) ・ 週当たりの授業時数を27コマとすることで、月曜日の6校時を児童との触れ合い字時間に位置付け、心の安定を図る。 ★ 子供への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・ 心のSOSを発信・いじめ防止の授業 ・ 「いのちの大切さを共に考える日」(6月1日) ・ 毎週月曜日6校時(1コマ)を有効活用して、児童の実態把握を行う。 		
<p>○ 保幼小連携を推進する。(小1ギャップの解消)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 保幼小連携の充実 ◇ 大塚保育園と <ul style="list-style-type: none"> ・ 聖徳多摩中央幼稚園と交流 ・ 教職員連携交流会(8月) ・ 合同避難訓練(12月) ・ 園児との交流(3学期) 		

<p>○ 小中一貫教育を充実する。</p>	<p>★ 小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に今年度は、【「希望あふれる9年間3校同年51YEARS」として松が谷・鹿島地区の特性を活かし、社会的自立に向けて実践的態度を育成する。】を3校(松が谷中・松が谷小・鹿島小)のキャリア教育の共通テーマとして、推進する。 ・ 気持ちのよい受け答えをしよう。(子供たちがいろいろな物事に「反応」できる。) ・ 「はちおうじっ子サミット」(小中一貫教育)で、いじめ防止を考える。児童発信による取り組みを行う。(児童会を中心に) ・ 3校共通の人権教育の取り組みとして、12月の「ことば朝会」で人権標語を作る。 			
-----------------------	--	--	--	--

4 子供たちが夢をもてる・その夢を応援できる 『安全安心な学校』づくりのために

☆ がんばる子

<p>○ 思いやりの心の育成(なかよし班を中心に)</p>	<p>★ 異年齢集団(なかよし班)の更なる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校遠足(4月28日) ・ サツマイモ栽培・収穫祭(10月17日) ・ なかよし班遊び(朝の集会) <p>★ 学習発表会(11月14日(土))で、子供たちの創造力・主体性を育む。</p> <p>★ 地域への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域クリーン活動(年3回・青少対連携) ・ 地域音楽祭への参加(会場:松が谷中) <p>★ 読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者による読み聞かせ活動 ・ 図書室の蔵書を充実させる。 			
<p>○ 安全安心の生活を送るための取り組み</p>	<p>★ 安全・安心な教育環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セーフティ教室(交通事故、連れ去り防止)、 ・ 薬物乱用防止教室 ・ 交通安全教室、自転車安全教室 ・ 情報モラル(インターネット・携帯・SNS等) 			
<p>○ 学校情報の充実発信</p>	<p>★ 素早く・正確な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間2回の学校評価(7月、12月) ・ 学校・学年だより等の発信の充実 ・ 学校HPの充実 			

